

## 2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年9月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ケーヨー

コード番号 8168

URL <https://www.keiyo.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）醍醐 茂夫

問合せ先責任者（役職名）取締役経営企画統括部長兼広報部長

（氏名）北村 圭一（TEL）043-255-1111

四半期報告書提出予定日 2020年10月8日

配当支払開始予定日 2020年11月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年2月期第2四半期の業績（2020年3月1日～2020年8月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	61,611	10.9	4,229	—	4,576	603.7	2,498	122.2
2020年2月期第2四半期	55,555	△8.9	276	629.9	650	48.9	1,124	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	38.35	—
2020年2月期第2四半期	17.26	—

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	84,660	43,831	51.8
2020年2月期	77,477	40,711	52.5

（参考）自己資本 2021年2月期第2四半期 43,831百万円 2020年2月期 40,711百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	6.25	—	6.25	12.50
2021年2月期	—	6.25	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	6.25	12.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年2月期の業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	3.1	3,900	643.3	4,600	277.1	2,100	69.3	32.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	65,140,184株	2020年2月期	65,140,184株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	3,655株	2020年2月期	3,295株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	65,136,688株	2020年2月期2Q	65,137,471株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2020年10月2日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの状況に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（2020年3月1日～2020年8月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響を受け、経済活動が停滞し、景気が急速に悪化するなど、先行き不透明感は一層強まってまいりました。

小売業界におきましては、同業他社や他業態との競争が激化している中、雇用・所得環境の悪化により個人消費が冷え込むなど、依然として厳しい経営環境となっており、さらに新型コロナウイルス感染症防止対策として3密回避、新しい生活様式への対応等、営業活動への影響を強く受けている状況となっております。

このような状況のもと、当社におきましては、お客様と従業員の安全を最優先に新型コロナウイルス感染症拡大防止策として消毒・清掃の強化、身体的距離の確保、従業員の検温等のあらゆる対策を継続しながら、社会的インフラとしての役割を果たすため、地域のお客様の日常生活・くらしを支える商品の安定供給、災害・防災用品の提供に努めてまいりました。

また、当第2四半期累計期間も中期経営計画に沿った取り組みとして、引き続きDCM棚割の導入を図るため18店舗の全面改装を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大人数を要する全面改装の実施を調整したことで、全面改装は10店舗の実施にとどめ、この他は、少人数で実施可能である部門ごとの改装等へと改装方法の変更をいたしました。

なお、3月に吹上店（埼玉県鴻巣市）、6月にみろく寺店（神奈川県藤沢市）の計2店舗を閉店いたしました。

以上の結果、マスクや透明シート等の感染症対策用品や外出自粛等の巣ごもり需要からDIY・園芸用品、トレーニング用品、テレワークの普及によりオフィス家具等の販売が好調に推移したことにより、当第2四半期累計期間の売上高は616億11百万円（前年同四半期比110.9%）となりました。利益面では、引き続きDCM棚割導入による効果に加え、荒利益率が比較的高いDIY・園芸用品の売上高の増加による荒利益率の改善、チラシの効率化及び折込自粛による広告宣伝費の減少等により、営業利益42億29百万円（前年同四半期比1,529.3%）、経常利益45億76百万円（前年同四半期比703.7%）、四半期純利益24億98百万円（前年同四半期比222.2%）となりました。

### （2）財政状態及びキャッシュ・フローの状況に関する説明

#### ①財政状態の分析

当第2四半期会計期間末の総資産は846億60百万円となり、前事業年度末に比較し71億82百万円増加いたしました。主な要因は現金及び預金76億66百万円、投資有価証券14億23百万円の増加と一方、商品13億94百万円、差入保証金4億49百万円の減少などによるものです。

負債合計は408億29百万円となり、前事業年度末に比較し40億63百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金38億13百万円、未払法人税等10億39百万円、流動負債その他に含まれる未払賞与5億34百万円、未払消費税等5億23百万円の増加と一方、長期借入金18億72百万円の返済などによるものです。

純資産合計は438億31百万円となり、前事業年度末に比較し31億19百万円増加いたしました。主な要因は四半期純利益24億98百万円の計上、その他有価証券評価差額金10億28百万円の増加、剰余金の配当4億7百万円などによるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は前年同四半期累計期間末に比べ43億22百万円増加し、124億89百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益36億6百万円に仕入債務の増加額38億13百万円、たな卸資産の減少額13億91百万円を加算し、法人税等の支払額4億69百万円を減算するなどして全体では107億34百万円の収入（前年同四半期は39億88百万円の収入）となりました。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4億21百万円、ソフトウェアの取得等によるその他支出3億84百万円、資産除去債務の履行による支出1億6百万円と一方、敷金及び保証金の回収による収入6億7百万円などにより3億85百万円の支出（前年同四半期は1億62百万円の収入）となりました。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出18億72百万円、配当金の支払額4億5百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出4億4百万円などにより26億83百万円の支出（前年同四半期は27億60百万円の支出）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年4月10日に公表しました2021年2月期(2020年3月1日～2021年2月28日)の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,823	12,489
受取手形及び売掛金	1,016	1,240
商品	25,175	23,781
その他	2,729	2,853
流動資産合計	33,745	40,365
固定資産		
有形固定資産		
建物	24,285	24,320
土地	10,235	10,217
その他	14,356	14,156
減価償却累計額	△27,617	△27,769
有形固定資産合計	21,260	20,924
無形固定資産		
無形固定資産	1,304	1,338
投資その他の資産		
投資有価証券	10,909	12,333
差入保証金	8,456	8,006
その他	2,179	2,046
貸倒引当金	△291	△267
投資損失引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	21,168	22,032
固定資産合計	43,732	44,295
資産合計	77,477	84,660

（単位：百万円）

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,879	13,692
1年内返済予定の長期借入金	8,292	7,692
未払法人税等	678	1,718
店舗閉鎖損失引当金	29	371
ポイント引当金	137	4
災害損失引当金	13	0
資産除去債務	127	95
その他	4,310	5,349
流動負債合計	23,469	28,925
固定負債		
長期借入金	5,782	4,510
退職給付引当金	4,770	4,792
資産除去債務	618	674
その他	2,125	1,926
固定負債合計	13,296	11,903
負債合計	36,766	40,829
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,505	16,505
資本剰余金	13,953	13,953
利益剰余金	7,972	10,063
自己株式	△2	△2
株主資本合計	38,429	40,520
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,282	3,310
評価・換算差額等合計	2,282	3,310
純資産合計	40,711	43,831
負債純資産合計	77,477	84,660

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年8月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年8月31日）
売上高	55,555	61,611
売上原価	36,870	39,953
売上総利益	18,685	21,658
販売費及び一般管理費	18,408	17,428
営業利益	276	4,229
営業外収益		
受取利息	18	13
受取配当金	114	103
受取賃貸料	531	467
その他	269	221
営業外収益合計	933	805
営業外費用		
支払利息	75	58
賃貸収入原価	426	374
その他	57	26
営業外費用合計	559	459
経常利益	650	4,576
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	1,891	-
受取保険金	-	5
特別利益合計	1,891	5
特別損失		
固定資産除却損	37	24
店舗閉鎖損失	284	528
減損損失	450	368
投資有価証券評価損	-	53
その他	27	0
特別損失合計	800	975
税引前四半期純利益	1,741	3,606
法人税、住民税及び事業税	641	1,462
法人税等調整額	△24	△353
法人税等合計	616	1,108
四半期純利益	1,124	2,498



（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年8月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年8月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,741	3,606
減価償却費	871	850
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△32	△24
退職給付引当金の増減額（△は減少）	105	22
受取利息及び受取配当金	△132	△116
支払利息	75	58
減損損失	450	368
固定資産除却損	37	24
店舗閉鎖損失	284	528
投資有価証券評価損益（△は益）	-	53
投資有価証券売却損益（△は益）	△1,891	-
売上債権の増減額（△は増加）	△447	△224
たな卸資産の増減額（△は増加）	△504	1,391
仕入債務の増減額（△は減少）	2,675	3,813
その他	644	807
小計	3,879	11,160
利息及び配当金の受取額	115	103
利息の支払額	△77	△60
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	70	△469
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,988	10,734
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△501	△421
有形固定資産の売却による収入	32	-
資産除去債務の履行による支出	△41	△106
投資有価証券の取得による支出	△3,978	-
投資有価証券の償還による収入	500	-
投資有価証券の売却による収入	3,929	-
貸付金の回収による収入	10	3
敷金及び保証金の差入による支出	△25	△84
敷金及び保証金の回収による収入	314	607
その他	△78	△384
投資活動によるキャッシュ・フロー	162	△385
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	380	-
長期借入金の返済による支出	△2,357	△1,872
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△377	△404
配当金の支払額	△405	△405
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,760	△2,683
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,389	7,666
現金及び現金同等物の期首残高	6,777	4,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,167	12,489

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年4月7日に発令された緊急事態宣言は、5月25日には全国的に解除されましたが、その終息時期を見通すことは依然として困難な状況にあります。このような状況のもと、当社におきましては、当第2四半期累計期間の業績は比較的順調に推移いたしました。しかしながら、ワクチンおよび治療薬は開発途中であり、国内経済の状況につきましても、しばらくは厳しい状態が続くものと想定しております。

当該想定のもと、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損の兆候等の会計上の見積りにつきましては、翌事業年度にかけて緩やかに収束していき、2021年度以降は2019年度並みの売上高で推移するものとの仮定により実施しております。

なお、この仮定は不確実性が高く、終息遅延により経済状況等への影響が長期化した場合には、将来において損失が発生する可能性があります。